

そうだ、きさいち植物園に行こう！

Let's go to Kisaichi Botanical Garden



3月



カツラ

- 全国の山地に生えるカツラ科の落葉高木
- 高さ20m・直径1m以上。1株で数本の幹を出し、葉はハート型
- 秋には葉から醤油をこがしたような芳香を放つ

3月



コブシ

- 山地に生えるモクレン科の落葉高木
- 高さ約10m、白く大きい花で香りがある
- 語源はつぼみや実の形が子どもの握りこぶしに似ていることから

3月



ニワトコ

- 本州から西に生えるレンブクソウ科の落葉低木
- 小枝の先に緑がかった白い花をたくさんつける
- 枝や幹の黒焼きは骨折などの薬になるといわれ、別名「接骨木」

2月～3月



マンサク

- 山地や庭に植えるマンサク科の落葉小高木
- 葉より先に黄色い花が咲く
- 語源は「早春にまず咲く」「枝いっぱい咲き、万年豊作」から

※気象状況により開花時期は前後します。現在の開花状況は植物園までお問い合わせください。

お知らせ

● 植物園メイト制度が3/31(木)で終了

植物園に無料で入園できる植物園メイト制度は、3/31(木)をもって終了します。4/1(金)以降は、65歳以上の府民(市民含む)が、150円で入園できる割引制度を導入します。入園時に住所と生年月日が記載された公的証明書(マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証等)を提示してください。

● かたの市民デーを開催！

日頃の感謝を込めて、市民のみなさんを無料で招待します。駐車料金も無料になります。

とき 7/25(月)、11/21(月)、2023年2/20(月)、3/27(月)

※事情により変更・中止の可能性あります。

持ち物 住所が記載された公的証明書
(マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証等)
※中学生以下は、証明書の提示は不要です。



大阪市立大学附属植物園(愛称:きさいち植物園)

☎ 891-2059 ● 交野市私市2000(私市駅徒歩6分)

HP <https://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>

● 開園時間 9:30～16:30(入園は16:00まで) ● 休園日 月曜日(祝休日の場合は開園)

● 入園料 大人350円/中学生以下無料 ● 駐車料 普通車500円/マイクロ1,000円



いつかは指定登録されたい

文化財子備軍

物語を紡ぎ続ける、清き流れ 天野川

穏やかな下流に、荒々しい上流。市内を南北に走る天野川は上下流で対極をなし、それぞれの自然美からあまたの歴史文化が育まれてきました。

歌人を魅了した七夕伝承の地 下流

狩り暮らししたなばたつめに宿からむ天の河原に我は来にけり
〔伊勢物語〕在原業平

これたか 惟喬親王のお供で天野川を訪れた在原業平は、天上の天の川に例えて歌を詠みました。また、江戸時代初頭の儒学者貝原益軒も、獅子窟山からの眺めを「…あたかも天上の銀河の形の如し…」と称しています。

七夕も雨にやはあはむ天の川あはれ交野の蓑をかさばや
〔犬筑波集〕宗祇

天の川星のぬる夜は少きを交野の鷹のあはぬ日はなし
〔晩花集〕

室町時代、江戸時代初頭の歌集に編まれた和歌にも天野川と七夕や星との関係が詠まれていることから、古代から今日まで途切れることなく七夕伝承が受け継がれてきた地と言えます。



なんゆうきこう 南遊紀行▲

石群が生み出す神話の世界 上流

天野川上流の磐船峡(府指定名勝)は、無数の巨石や奇岩が織りなす圧巻の景観。合間を流れる清流は、落差7mから激しく流れ落ちる鮎返しの滝につながります。

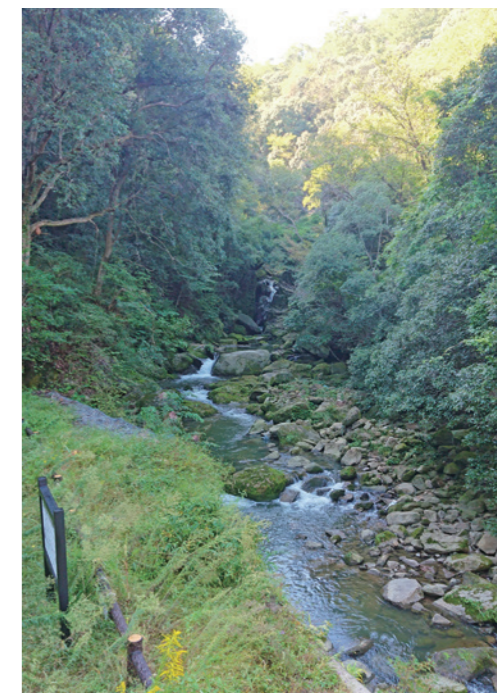
鮎返しの滝をさかのぼった磐船神社にそびえ立つのは、ご神体である船形の巨岩「天磐船」(高さ、幅12m)です。物部氏の祖神といわれる饒速日命がこの巨石に乗り降臨されたと伝わります。境内には「天岩戸」伝承の巨石もあり、古代人たちは巨石に神話の物語を思い描いたのでしょうか。



鮎返しの滝の図▲

江戸時代初頭の軍記物語「むらまじのつぎ」に、「織田信長

が私部城侵攻時に天野川の上流から血と一緒に剣が流れるという夢を見た」と記されています。これは「日本書紀」の、「イザナギが干握剣でカグツチを切り裂き、飛び散った血が天安河のほとりにある岩群となった」という記述と重なり、磐船峡に点在する巨石群のようでもあります。



天安河(現在の天野川)磐船峡付近▲